

規格化、規格化なし random 曲線を得る。

1. 概要

2. `defocus` 補正を行う。

2. 1 BG補正を行い、ASCファイルとTXT2ファイルを作成

2. 2 疑似規格化されていない`defocus` 曲線を得る。(複数の極点図を比較する場合)

2. 3 疑似規格化されている`defocus` 曲線を得る。(通常使用、ODF計算の場合用いる)

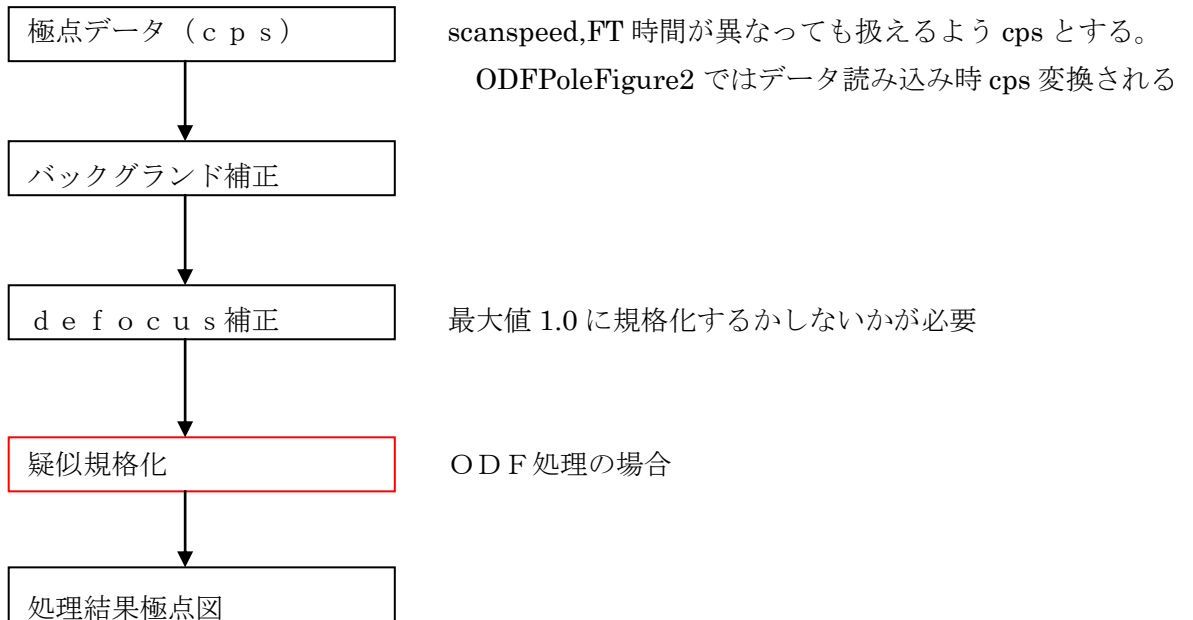
2013年07月01日

HelperTex Office

odftex@ybb.ne.jp

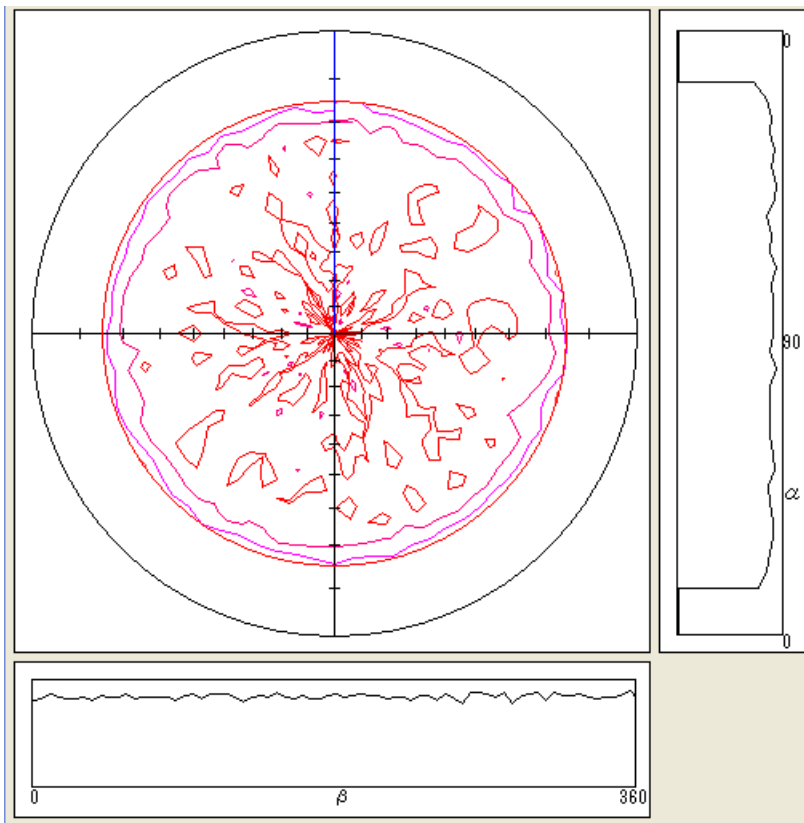
1. 概要

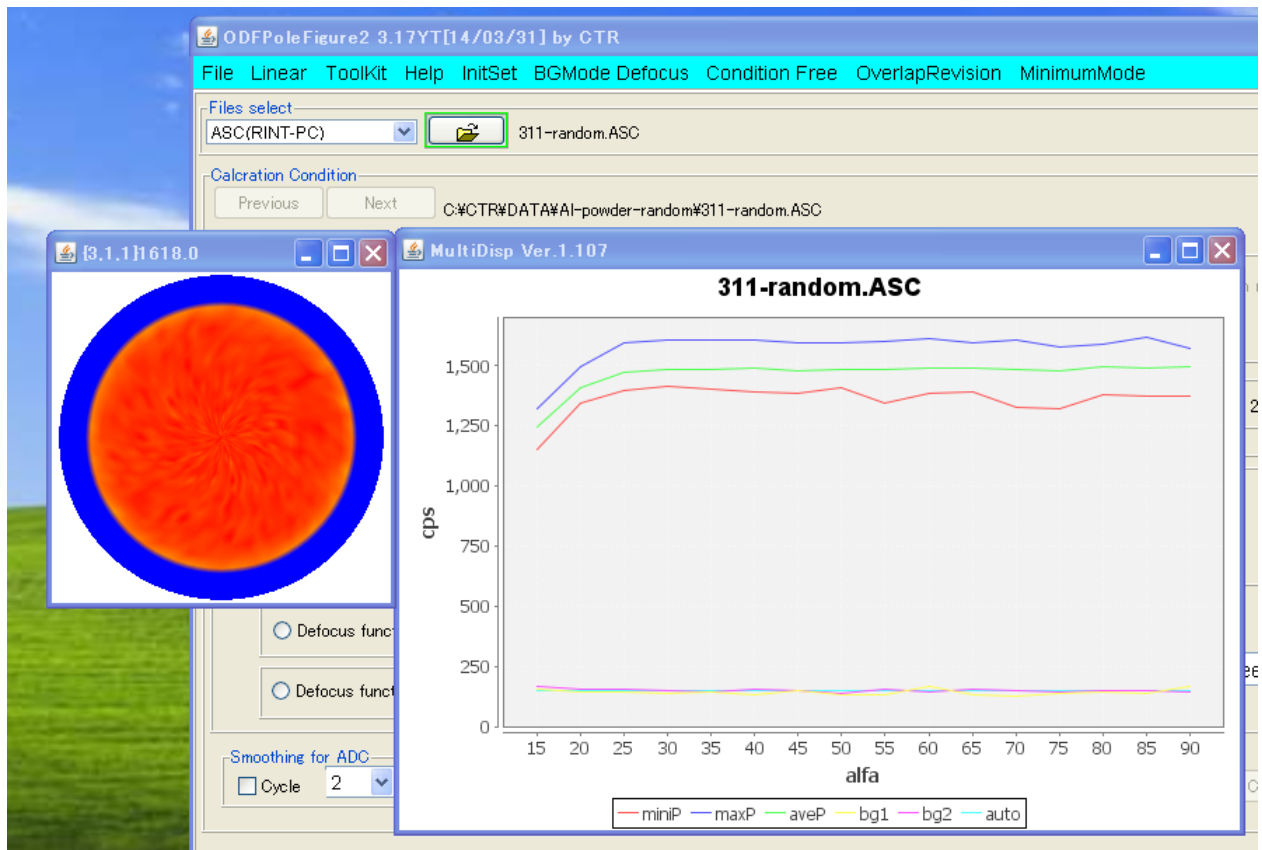
正極点データで `defocus` を考える時、ODF解析を目的とした場合と極点処理だけを考える場合で補正が異なる。ODFを扱う場合なら、極点処理結果に対し、個々の極点図の相対極密度（規格化）として問題ないが、極点図のみで極密度を比較する場合、相対強度とせずに、単に `defocus` 補正のみを行って比較する事が考えられる。



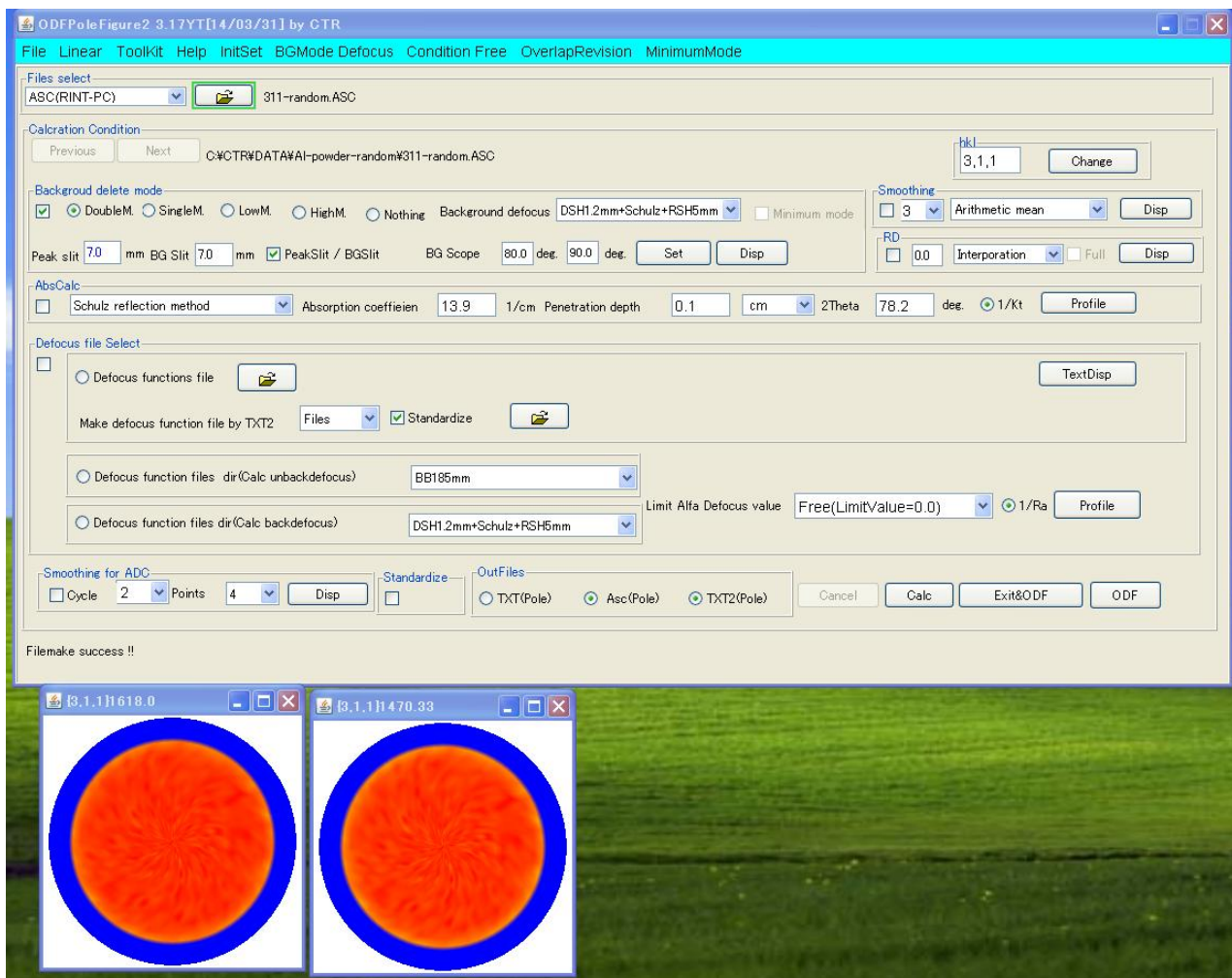
2. `defocus` 補正を行う。

C:\¥CTR¥DATA¥Al-powder-random¥311-random.ASC



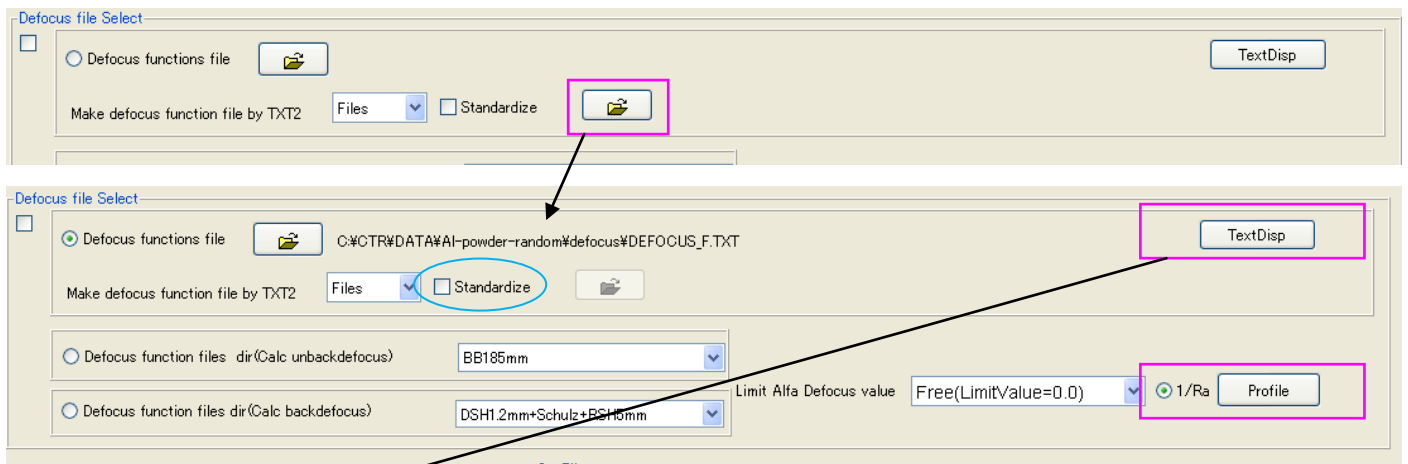


2. 1 BG補正を行い、ASCファイルとTXT2ファイルを作成

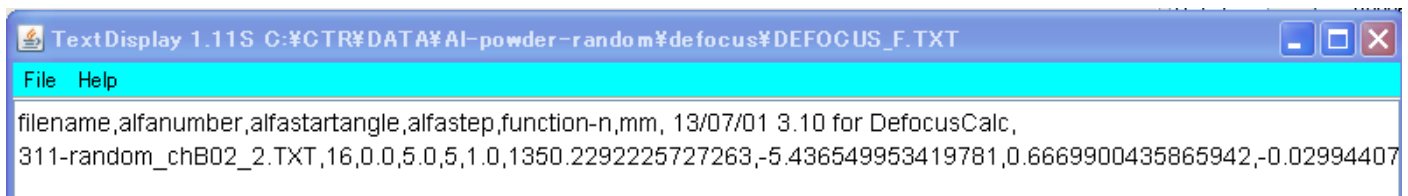


最大極密度 1470.33 の処理結果極点図が得られる。

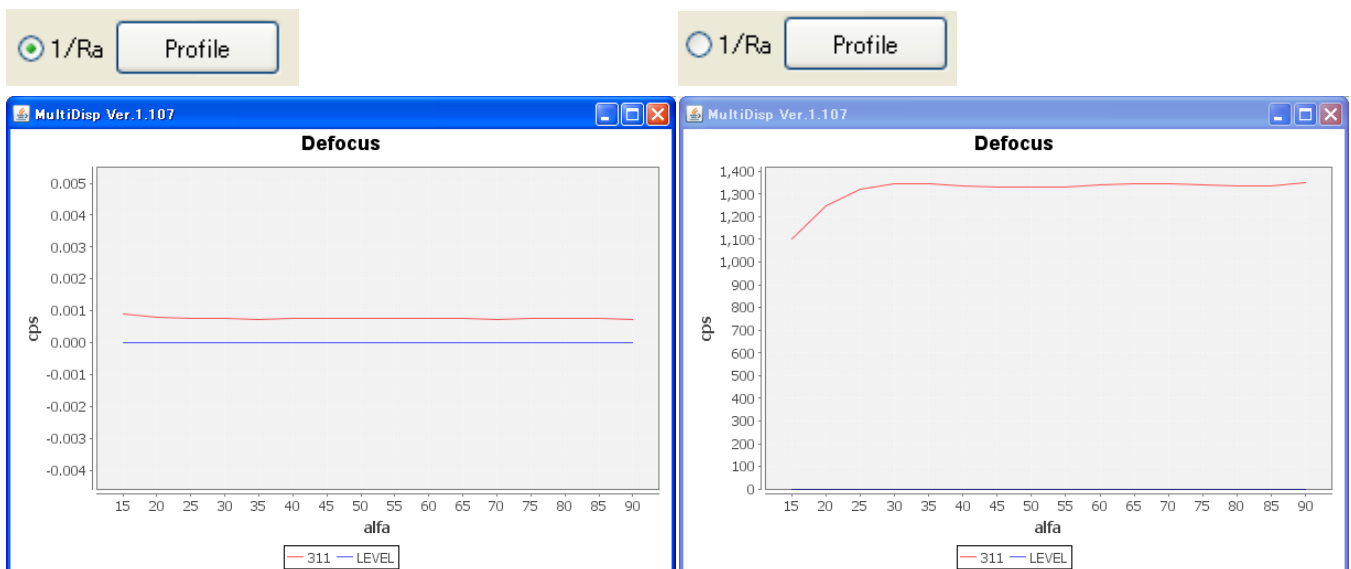
2. 2 疑似規格化されていないdefocus曲線を得る。(複数の極点図を比較する場合)



多項式近似式が得られる。



補正曲線が得られる。



疑似規格化されていない事が分かります。

2. 3 疑似規格化されている defocus 曲線を得る。(通常使用、ODF 計算の場合用いる)

Defocus file Select

Defocus functions file C:\CTR\DATA\AI-powder-random\defocus\DEFOCUS_F.TXT

Make defocus function file by TXT2 Files Standardize

Defocus function files dir(Calc unbackdefocus) BB185mm

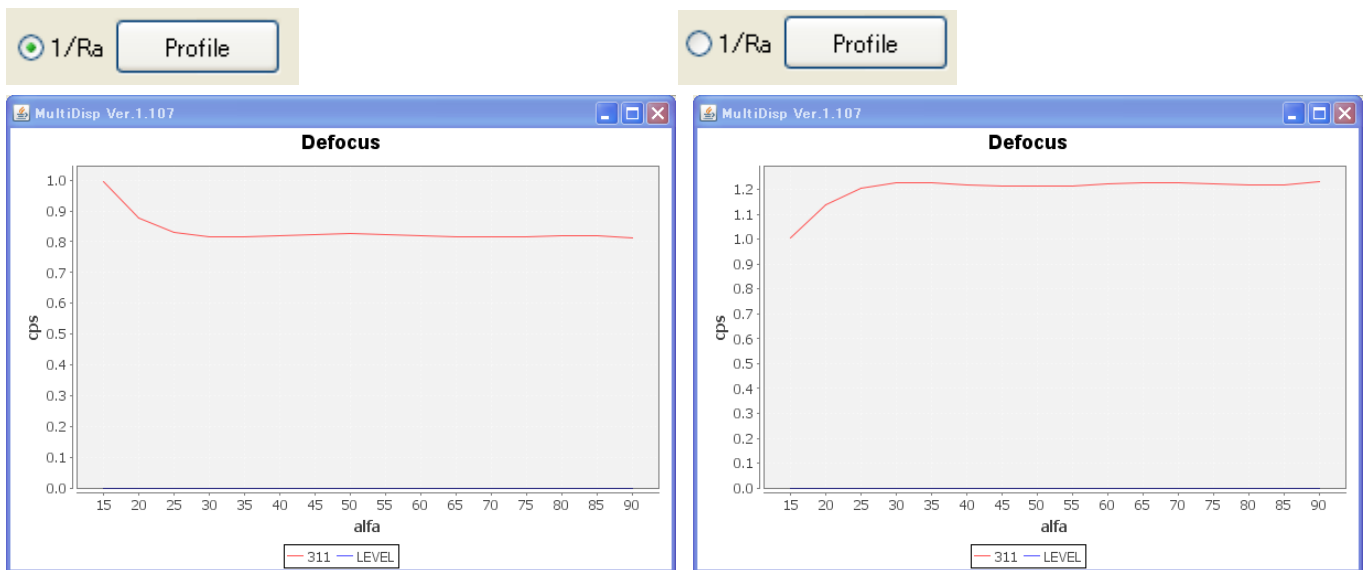
Defocus function files dir(Calc backdefocus) DSH1.2mm+Schulz+RSH5mm

Limit Alfa Defocus value Free(LimitValue=0.0) 1/Ra

多項式近似式が得られる。

```
TextDisplay 1.11S C:\CTR\DATA\AI-powder-random\defocus\DEFOCUS_F.TXT
File Help
filename,alfanumber,alfastartangle,alfastep,function-n,mm, 13/07/01 3.10 for DefocusCalc,
311-random_chB02_2.TXT,16,0.0,5.0,5.1,0.1,2310634462679728,-0.004956742017837159,6.081241969402055E-4,-2.730
```

補正曲線が得られる。



疑似規格化されている事が分かります。